

令和3年度 地域生活支援スタッフ研修会 開催要領

1 目的

障がい者の自立支援や社会参加を支えるためには、支援者が全体像を捉え、ケース毎の支援を考えていくことが大切である。

その中で、補装具支援は大きな役割を担っており、支援者が補装具を知り、申請や相談ルート等について理解することは、適切な補装具の使用、引いては障がい者の地域生活の充実へと繋がっていく。

そこで今回、支援者が障がい者への支援を振り返るとともに、接する機会の多い補装具のひとつである「車椅子」について学び、今後、更に充実した地域支援を行っていくことの一助として、本研修会を開催する。

2 主催

宮城県リハビリテーション支援センター

3 日時

令和3年12月10日(金) 午後2時から午後4時まで(受付:午後1時45分から)

※ 会場型は体験(実技)があるため、午後4時30分まで。

4 会場

宮城県リハビリテーション支援センター 1階 リハ支援展示ラウンジ

(住所:名取市美田園二丁目1-4 電話:022-784-3588)

※ 会場型とオンライン型(WE B)とのハイブリット形式で実施します。

5 対象(定員)

障害福祉サービス事業所、訪問看護事業所、市町村等の職員

(定員)会場型20名、オンライン型80カ所 程度

6 研修内容

第1部 ～障がい者への支援を振り返る～

講話「障がい者を支援するうえでみんなができること」

- ・ 当事者と支援者のコミュニケーション
- ・ 車椅子で生活することとは ほか

(講師) 社会福祉法人宮城県障がい者福祉協会 副会長

NPO法人仙台バリアフリースターセンター 理事長

社会福祉士・精神保健福祉士 伊藤 清市 氏

(裏面に続きます)

第2部 ～補装具って何？ P a r t 3～

講話①「補装具の申請と相談ルート等について」

(講 師) 宮城県リハビリテーション支援センター

リハビリテーション専門医 宮内 名帆

講話②「車椅子の種類と機能について」

(講 師) 宮城県リハビリテーション支援センター職員

(助言者) 伊藤 清市 氏

第3部 体験 (会場のみ)

～車椅子を触ってみましょう～

(助言者) 伊藤 清市 氏

(担 当) 宮城県リハビリテーション支援センター職員

7 申込方法

令和3年11月30日(火)までに、当センターリハビリテーション支援班宛て別紙申込書により電子メールでお申し込みください。

件名は「地域生活支援スタッフ研修会申込み」で御送信ください。後日、パスワードを返信します。

申込み多数の場合は、人数調整をさせていただく場合がありますので御了承ください(その際は、御連絡を差し上げます)。

8 新型コロナウイルス感染予防対策について

(1) 会場では、新型コロナウイルス感染防止のため、マスクの着用をお願いします。当日は受付にて体温チェックを行い、37度以上の場合は受講をお断りさせていただきますので御了承ください。

(2) 新型コロナウイルスの感染拡大状況により、オンライン型のみでの開催とさせていただきます場合があります。その場合は、会場型申込の方のみに連絡をさせていただきます。

9 その他

(1) 参加費は無料です。

(2) 会場型受講者は体験がありますので、動きやすい服装でお越しください。

(3) できるだけ公共交通機関(仙台空港アクセス線)を御利用ください。やむを得ず公用車等を利用される場合は、申し込み用紙に駐車場の利用についての記載をお願いします。後日、駐車許可証を電子メールにて送付します。

(4) 本研修会は、身体障害者福祉担当職員研修会に充当するものです。

10 申込み・お問い合わせ先

宮城県リハビリテーション支援センター

リハビリテーション支援班 担当: 佐々木

電話: 022-784-3588

電子メール: rehabilis@pref.miyagi.lg.jp